

ダーレックススーパー 100 シリーズ

JIS A 6204 高性能 AE 減水剤 適合品

はじめに

スーパー 100 シリーズは、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の高性能 AE 減水剤 標準形 (I 種) / 遅延形 (I 種) に適合し、一般土木から建築までの広範囲な用途に使用できる生コンクリート用混和剤です。

スーパー 100 シリーズは、優れた減水性能とスランプ保持性を有していますので、高強度化や高流動化など多様化する生コンクリートの生産に適しています。

スーパー 100 シリーズには、標準形・遅延形の区分に加え、スランプ保持性の異なるタイプがありますので、使用条件やコンクリート温度などにより適切な種類を選定していただけます。

スーパー 100 シリーズの特長

- 優れたセメント分散性能により、低水結合材比でも粘性の小さい良好な施工性が得られます。
- 優れたスランプ保持性により、安定した施工性が得られます。
- スランプ保持性に応じて種類を選定可能です。(スランプ保持時間: $pHW < pHX < pEC$, $pHR < pECR$)
- 練混ぜ時間の短縮が可能です。
- 強度発現性が優れており、耐久性に優れたコンクリートの製造が可能です。

種類	区分	主成分	密度 (g/cm ³ , 20°C)	外観
スーパー 100pHX	高性能 AE 減水剤 標準形 I 種	ポリカルボン酸系化 合物	1.025 - 1.055	褐色液状
スーパー 100pEC			1.055 - 1.085	
スーパー 100pHW			1.030 - 1.060	
スーパー 100pHR	高性能 AE 減水剤 遅延形 I 種		1.055 - 1.085	
スーパー 100pECR			1.070 - 1.110	

スーパー 100 シリーズは、塩化物を含みません。

使用方法

- スーパー 100 シリーズの使用量の範囲は、結合材に対して 0.3~3.0% です。これ以外の場合、弊社までお問い合わせ下さい。なお、使用量は、使用材料、配合、練混ぜ方法、温度などの諸条件により異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られるように試し練りによって決定して下さい。
- スーパー 100 シリーズは、単位水量の一部として練混ぜ水に混合してご使用下さい。
- 所定の空気量が得られない場合は、弊社の空気量調整剤をご使用下さい。

使用上の注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管してください。もし、凍結した場合には、徐々に温め、融解・攪拌後ご使用ください。
- 取扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。
- 皮膚に付いた場合には、速やかに上水道水で十分洗い流してください。眼に入った場合は、眼をこすらず直ぐに上水道水で十分洗眼した後、医師の診断を受けてください。

- ・飲み込んだ場合は直ぐに吐かせ、多量の飲料水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- ・廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- ・詳細な情報が必要な場合は、弊社の製品の安全データシートをご参照ください。

JIS A 6204 による試験結果例

スーパー 100 シリーズは、JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) に適合します。

項目	JIS A 6204 高性能 AE 減水剤 形式評価試験値							
	高性能 AE 減水剤 標準形 I 種				高性能 AE 減水剤 遅延形 I 種			
	規格値	スーパー 100pHX	スーパー 100pEC	スーパー 100pHW	規格値	スーパー 100pHR	スーパー 100pECR	
減水率 (%)	18 以上	18	18	18	18 以上	18	18	
ブリーディング量の比 (%)	60 以下	25	29	24	70 以下	34	34	
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+20	+55	+20	+6~+210	+145	+165
	終結	-60~+90	+25	+55	+20	0~+210	+145	+170
経時変化量	スランプ (cm)	6.0 以下	3.0	2.0	5.0	6.0 以下	2.0	2.0
	空気量 (%)	±1.5 以内	0.3	0.3	0.5	±1.5 以内	0.4	0.6
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125 以上	147	146	146	125 以上	146	145
	材齢 28日	115 以上	137	134	138	115 以上	138	134
長さ変化比 (%)	110 以下	97	98	98	110 以下	99	98	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	93	93	93	60 以上	93	92	

使用材料 セメント: 普通ポルトランドセメント 3 種等量, 細骨材: 陸砂, 粗骨材: 碎石 2005, 混和剤使用量 (pEC, pHW: Cx0.8%, pHX, pHR, pECR: Cx0.9%)

コンクリートの試験結果例

普通コンクリートおよび高強度コンクリートのスランプ経時変化。

gcpat.com | 商品に関する問い合わせ: asia.enq@gcpat.com

GCPケミカルズ株式会社

東京事務所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1 丁目 8 番 10 号 クリエイトビル 6 階 Tel: 03 (5226) 0231 Fax: 03 (3239) 2251
技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地 Tel: 046 (225) 8877 Fax: 046 (221) 7214

弊社は、本情報がお役に立つことを願っております。本書に記載されている情報は正当および正確とみなされるデータおよび情報に基づいており、使用者の考察、調査、および検証に役立てていただくために提供するもので、弊社は結果が得られることを保証するものではありません。弊社が提供するすべての商品に適用される販売条件と合わせてすべての記載事項、推奨、または提案事項をよくお読みください。記載事項、推奨、または提案事項はいかなる特許、著作権、またはその他の第三者の権利を侵害するような使用を意図するものではありません。

GCP Applied Technologies Inc., 米国 02140 マサチューセッツ州ケンブリッジ ホワイトモア通り 62

© Copyright 2016 GCP Applied Technologies, Inc. All rights reserved. | Printed in Japan | 03/16 | 250-Super-1



gcp applied technologies